

ロッテ観光開発株式会社

「IDAS」導入でDAMを構築...LAMS基盤で海外市場開拓に乗り出す

体系的なデジタル資産管理でグローバル旅行業リーダー役として位置付け



ビジネス多角化によってデジタル資産管理が困難

旅行商品の開発・販売・管理上活用されるメディアコンテンツ情報の管理がまともにできず、資産活用度が低下、著作権の管理上発生する被害問題が報告された。なお、ロッテ観光開発株式会社（以下、ロッテ観光という）は旅行産業のグローバル化の為海外進出のため、国際的や国別の多様な規制を満たせる方法が必要となり、広報やマーケティングのためデジタル資産管理事業が必要であった。

ロッテ観光IT企画チーム長 高・ギルジュン氏はこのように語っている。

「旅行先を紹介する写真や動画、旅行商品を案内するテキスト基盤の情報、旅行スケジュール、その他説明資料のような文書は弊社の重要資産です。このような資産管理仕方によっては、不法改竄と著作権上の問題が発生する可能性があった。また、顧客が求めるメディアを把握・旅行商品の広報効果を極大化するニーズもありました。」（高氏）

様々な観点のデジタル資産管理が必要

このような背景でロッテ観光は旅行産業の特長を反映し、今後のビジネスに役に立つ先進デジタル資産管理ソリューション（DAM: Digital Asset Management）の構築事業である「ロッテ観光開発資産管理システム（LAMS）」をはじめた。

「Image System」の導入で脆弱性を指摘されていた情報検索機能が強化されたことから、既存に比べて約70%の時間短縮の効果があった。

また、4社の顧客データにはそれぞれの関連会社を特定できるロゴなどの画像を入れ込み、顧客データと関連会社の紐付けを徹底した。

さらに、データはストレージで保管し、破損や損失を抑えるとともに、顧客データの流出というリスクに対する不安を解消した。

現場のスタッフにも大きなメリットがあった。資料の検索に費やしていた無駄な時間が減り、本来の業務に集中できるようになったことで、業務内容の品質を高めたのである。

（出処：Network Times, 2010.4）

会社情報

社名：ロッテ観光開発株式会社

設立：1971年5月24日

従業員数：350名（2009年3月5日）

本社所在地：韓国ソウル市鐘路区世宗路 211

ロッテ観光開発株式会社（代表社長：金其炳）は、1971年創立してから旅の品質にこだわり、価値ある旅行商品を創造し、お客様に「満足・夢・感動」を、「癒しとやすらぎ」をお届けしながら、最良のサービスを提供してきました。

韓国鉄道公社のKorailと共同出資・設立した「Korail・ツアー・サービス」、韓国最初の免税店であるドンファ免税店、ロッテ観光などの関係会社がある韓国唯一の総合観光グループで、大規模の観光開発事業に進出しています。

LAMS 事業での基本的な考えは複雑で多様なデジタル資産を ▲イメージ ▲動画 ▲音響 ▲文書の4種類の形態に区分し管理、すべての資産の属性情報を抽出・入力・管理する。

また、旅行産業がグローバル化し国際規制に対する対応が必要である。爆発的に増加するデジタル資産を多次元的に分析して、リアルタイムに変わる消費パターンと環境の変化に対応しサービスを変化させるのはもちろん、ネットワークの環境変化で顧客の旅行商品を接する方法が多様になったのでスマートフォンを含むモバイルデバイスへのサポートが必須となった。

このような要望事項をまとめ、多数のDAMソリューションを検討した結果、ロッテ観光開発が選定・採用したのがI-ON Communicationss Co., Ltd(以下、I-ONという。)の「IDAS(I-ON Digital Asset management System)」である。

「IDASはロッテ観光開発が挙げている要件を満たし、ECMの分野で多様なレファレンスを持っていてカスタマイジング、サポート力も判断材料の決め手となり、その期待をよく満たしている所以现在も高く評価しています。」(高氏)

LAMS基盤のビジネスで海外市場への参入も積極的

現在、ロッテ観光は海外市場への参入を積極的に検討中でLAMSがそのような要求を満たせると期待されている。

現在、アフリカのセネガルにデジタルストーリーテリングのコンテンツの供給を準備中でそのサービスを開始するとヨーロッパ、米州など世界中の人々向けの旅行サービスを提供する予定である。世界の新しい旅行先を開発し、ITと組合わせたサービスの提供で韓国の旅行産業の位置を高めると期待されている。

[Interview] ロッテ観光IT企画チーム長 高・ギルジュン氏



IT企画チーム長 高氏(写真)

“デジタルコンテンツのデジタルコンバージェンスでグローバル競争力を向上”

・ LAMSを構築した背景は

旅行業者は、旅行商品を開発、販売する時に使用する写真、動画、ドキュメント等デジタル資産が非常に多いので、デジタルメディアの特性とグローバル規制のためバージョンと著作権の管理に徹底すべきです。なお、様々なモバイル機器と有・無線ネットワークの環境を活用した新たなビジネス展開のためにデジタル資産管理システム(DAM)を構築するようになりました。

・ I-ONのIDASを採用した理由は

デジタルメディアのような非定型データは合理的なコンテンツの分類に多くの困難があります。特に、旅行業では地域別、商品別、感性別、目的別など様々な基準のコンテンツ分類方式が求められるので多次元的な分析技術が求められます。検討中のソリューションの中でその要件を満たせるのがIDASというソリューションです。また、I-ONがECMの分野で多様なレファレンスの実績を持っているのも決め手となりました。

・ プロジェクト中に難しかった点は

LAMSは、韓国もちろん海外でも類似事例がない先導的な概念であります。また、デジタルメディアの種類とトレンドがリアルタイムに変わるため分類体系と管理プロセスの特定が難しく、更に変化しつづ傾向で幅広くサポートし簡単に管理できるシステムの構築の難しさを感じました。しかし、I-ONの積極的な対処によってプロジェクトの期限内に無事完了出来ました。

・ 今後の計画は

3Dを用いたサービスの高度化を計画しています。デジタルコンテンツのデジタルコンバージェンスを通じお客様に体験旅行を味わせてもらい、国や環境の制約を飛び越えるグローバル旅行サービスを提供します。

ありがとうございました。

【お問い合わせ】